

## かわさきコロナ情報(動画特設ページ)

### #09 令和2年5月3日 ~川崎市の新型コロナ発生分析、PCR検査について~

市長: 今月一ヶ月ぐらいで、市民の皆さんからこれぐらいたくさん市長への手紙という中からコロナに関する御意見や御質問をいただいております。参考にさせていただく御意見がたくさん入っております。こういったお気持ちにも、なるべく応えられるような質問を岡部所長にしていきたいと思います。

川崎市の今の陽性者数について、岡部所長に解説と分析をしていただきたいと思ってます。本日5月1日現在、合計で241名の感染者が川崎市内で報告されているということです。

ピークは20人近い方がいらっしゃいましたが、少し下がってきてところですかね。この表は10日ごと、検査数に対して陽性者数を表した、いわゆる陽性率をグラフにしたものですが、3月11日から20日ぐらいまでは19%から20%ぐらいあったものが、現在ですと6.6%まで少し減っています。このあたりの数字について、岡部所長から分析や傾向を教えていただきたいです。

岡部所長: 川崎市で報告があった数になりますけれども、川崎市はどうしてか、出だしは遅かったのですが、急に増えはじめ、3月の末から4月は心配した時期でしたけど、4月中旬ぐらいで、幸いにもほかの地域よりも早めじゃないかと思いますが、少し少なくなっていました。

これはいろいろと御迷惑かけていると思うんですけれども、自粛をしていただいた結果として、人から人への感染が少なくなっていますが、自粛を解除するとピークに戻る可能性があるので、注意する必要があるかと思います。

今のところ、保健所を通してくる検体は健康安全研究所で検査していますが、以前は数十件で、今は100件前後ぐらいの検体をいただいている。その中で陽性の割合が10%を超えると患者さんが増えてきたということになりますが、そういう意味ではちょっと落ち着いてはいます。

検査数を増やしていくと陽性の割合が低くなっていく可能性がありますが、私ももう少し検査数が増えるとよいと考えています。

市長: よくPCR検査の検査数を増やしていくと陽性率が高くなると言われますけども、今、岡部所長は減っていくと言っていましたが、そのあたりどのような考え方でしょうか。

岡部所長: 検査数を増やすと、致死率は当然下がり、重症率も下がってくるとは思いますが、症状のある方を中心に早く治療するという意味では、検査数を増やすことが必要だと思います。

PCR 検査という名前がすごく有名なつてしましましたが、PCR 検査以外にも検査方法はあります。ただし、北海道から沖縄まである衛生研究所で全部同じ方法できちつと検査することが日本のスタンダードになっています。

もうちょっと検査を広めていくためには、違う検査方法を病院や診療所で導入していけば、もっと検査数が増えるかと思います。

私のいる健康安全研究所でも、最初は 2 台あった検査機械を 3 台に増やし、さらに民間研究機関からもう 1 台お借りして、もっと早く検査ができるようにしています。健康安全研究所以外でも検査をしていただけるところもありますので、そういった機関で検査していただける体制に今後なっていくかと思います。

市長：陽性率ですが、この数字は健康安全研究所で検査した数のみが反映されていますが、陽性者数は、民間研究機関の数もカウントされているということでよいですね。

岡部所長：そうですね。

市長：全国や東京都の傾向も、川崎市の傾向と同じと考えていいですか。

岡部所長：そうですね。数的には当然、東京都の方が大きいですが、東京都を追っているような形です。ただ、減少してきたのは東京都よりも早めじゃないかと思います。

市長：皆さんの行動変容というものが、結果として表れてきていると見ていいですか。

岡部所長：そうですね。行動変容はもちろん影響を与えていますが、自粛前からもしかするときちんと行動していただいた方が多かったんじゃないかなと思います。

市長：川崎市内の感染発生早期というのは、傾向として、都内で働きに出て、中高年の方は飲み屋さんでとか、あるいは若者がカラオケボックスだとかライブハウスで感染というのがありました。それからもう一つのルートとして、海外からの留学から帰ってくる若者と 3 つの分類に分かれていたかと思うんですが、最近の健康安全研究所の結果を見ていますと、家族内感染みたいなものにシフトしてきたかなと思いますが。

岡部所長：そうですね。川崎市だけの話ではないですが、それは感染が広がっているってことを表しているという意味になると思うんですが、家族での感染、病院の中でも感染している人から看護している人たちに広がってしまうこともありますね。

市長：そうですね。数全体としては少なくなっていますが、家族で2、3人で感染してしまう、あるいはちょっとしたクラスターみたいなものが発生すると数字が上がってしまうという感じですかね。

PCR検査の話が岡部所長から出てきていますけども、健康安全研究所で検査を行つていただいているが、本当に土日も休み関係なく、次々と運び込まれている状況で大変頑張っていただいていると思います。

岡部所長：検査機械にかけるだけではなく、担当している職員の手作業で行うこともあるので気を使い、慎重になるところもあります。厳重な格好をして外に漏れないように、また自分たちもかからないように注意して取り掛かっています。

市長：今、大体一日100前後、今日は110とか115とかという話を聞いていますけど。大体そのぐらいの数はこなせていて、今後さらに増えていくという感じですかね。新しい検査法が導入できていくとか、あるいは、各民間の病院とかでもPCRの検査ができる体制が整っていくとか。あるいは、市の医師会の皆さんに協力いただいて市内3か所にゴールデンウィーク明けから集団検査所を隨時開設していくことになってきているので、少しずつPCR検査が拡大しているという感じですね。

岡部所長：それと検査も一生懸命やっていますけれども、新しい検査法の開発も他の研究機関と共同で、できるだけ新しいものを導入できるようにといった研究も並行してやっています。

市長：ありがとうございます。